



新収蔵資料展

蘭 繁之 の 世界

平成23年1月15日(土)～3月13日(日)

開館時間 9:00～17:00 休館日 1月27日(木)、2月24日(木) 入館無料

青森県近代文学館

日曜講座

2月6日(日)14:00～16:00 青森県立図書館研修室

「蘭繁之作品の魅力」佐々木朋子(青森県近代文学館)

「製本への誘い」棟方維大(青森県立図書館)

青森県近代文学館

〒030-0184 青森市荒川字藤戸119-7

TEL 017-739-2575 FAX 017-739-8353





「緑の笹豆本」全423集（昭和40年8月～平成16年2月）の一部と専用津軽塗本箱（田中屋製）
約10cm×8cm（はがきの半分位）の大きさの手作り本。毎月1回、限定250部で会員のもとに届けられた。



佐藤公太郎ほか『夢二慕情』
昭和57年6月1日 緑の笹豆本の会刊
限定200部の内第179番本

「新収蔵資料展 蘭繁之の世界」開催にあたって

蘭繁之は、1920(大正9)年、弘前市和徳町に生まれました。弘前文学会に所属し、「火山脈」「弘前文学」を中心に詩・俳句などを発表する一方で、昭和40年に「緑の笹豆本」を創設・主宰し、手作りによる豆本や限定特装本の制作を手がけました。

その代表的な仕事である「緑の笹豆本」は、39年間にわたり第423集まで刊行が続けられ、文学を中心に多彩なテーマ・著者を揃えた魅力的なシリーズとなって、全国的にその名を知られました。同時に版画家、装丁家として多くの特装本の制作を手がけ、本県の芸術文化に貢献しました。平成12年には青森県芸術文化振興功労章を受賞しています。

本展では、今回新たに寄贈された蘭繁之の作品および蔵書を中心に、従来の所蔵資料も織り交ぜながら、蘭が生涯にわたって情熱を傾けた豆本・特装本の世界を紹介します。



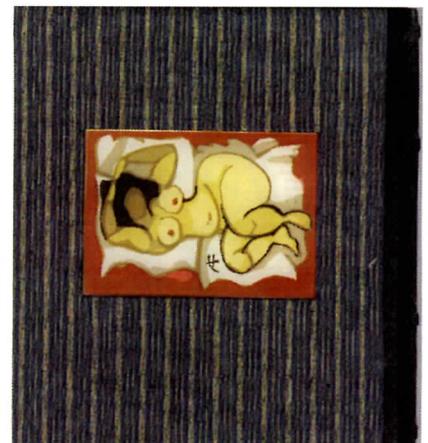
蘭繁之『詩集 藍抒情』
平成5年10月24日 緑の笹豆本の会刊
限定300部の内第83番本



水曜荘主人編『蕎麦猪口版画集』
昭和38年4月20日 緑の笹豆本の会刊
絵 酒井秀夫 俳句・彫・摺・装幀・造本 蘭繁之
特装30部の内第30番本 北海道立文学館蔵



棟方志功『哀しき父と悲しき母の物語』特装本各種
昭和44年9月1日・45年11月3日 緑の笹豆本の会刊
北海道立文学館蔵（左の3冊）



関野準一郎『限定本談義』
昭和51年1月1日 緑の笹豆本の会刊
限定150部の内第6番本

◇関連行事のお知らせ◇ 「蘭繁之の世界」日曜講座 2月6日(日)午後2時～4時 青森県立図書館研修室
「蘭繁之作品の魅力」佐々木朋子(青森県近代文学館) 「製本への誘い」棟方維大(青森県立図書館)